

この議事録は新宿区学童保育連絡協議会が作成し新宿区子ども家庭部子ども総合センター児童館運営係が内容を確認して公開することを了承したものです。

《H27年4月28日 区と新宿連協とのミーティングの議事録》

【日時、場所】

4月28日火曜日朝7:30～8:30

区役所にて

【参加者】

子ども家庭部： 子ども総合センター 所長 小野、係長 堀澤、ひろば学童担当 北井
連協役員： 事務局長 小高、役員 岡本、 役員 渡辺（仁子）

【アジェンダ】

- 1、区のHPの利用数などの掲載について
- 2、4月1日からの新制度での問題点
- 3、学校休業利用の待機繰り上げ通知日程
- 4、学童・機能拡充ひろばの利用要件
- 5、高学年の対応
- 6、来年度に向けて
- 7、今年度の事業者選定
- 8、今年度の区の研修

【話し合いの主な内容】

- 1、区のHPの利用数などの掲載について

利用数などの掲載について前載せていた学年ごとの申請数も削除され、状況がわかりにくくなっている。落四の場合、5～6年生の申請もあるが、待機数は合計のみなので、4年生が待機なのか6年生が待機なのか状況がわからない。待機の状況によって申請を検討したり、問題点も考えるので、学年ごとの申請数、待機数、利用数を掲載してほしい。

→人数は、追加登録、辞退、申請そのものの辞退など常に変動がある。細かいところまで、HPに載せると全体として、見にくいわかりにくいものになる。HPには載せない。毎月の集計を翌月中旬くらいにまとめるので、個別に問い合わせただけであればお伝えできる。HPのデータは27日に更新した。

- 2、4月1日からの新制度での問題点

問題点があれば対策も合わせて教えてほしい。

→新制度に関しての問題は報告されていない。

- 3、学校休業利用の待機繰り上げ通知日程

春休みの利用通知は遅かった。最低1か月前には通知してほしい。遅く通知されるのは困る。

→7月8月夏休み（7/21～）は6月25日頃。冬休み（12/26～）は11月末頃、春休み（3/26～）は2月末頃に通知する。

1か月前には足りないが、あまり早いと、そのあとの定期利用申請により、定員オーバー状態になることがあるので、つめこみはできるだけ避けたい。月末に利用辞退の連絡が多いのでこのようにしたい。

- 4、学童・機能拡充ひろばの利用要件

勤務時間が、6時から15時とか、10時から14時などの方もいるため、利用要件の「日中正午以後、4時間以上保護者不在」の部分の「日中正午以後」という文言は外してほしい。長期休業中の利用もできずに困る方がいる。

→今のところ変更は考えていない。

5、高学年の対応

新たに高学年も学童クラブの対象になったが、高学年対応の指導はどのように行い、4月からどのように運営されているのか。

→昨年度中に、学童クラブ主任会議、指定管理館長会、巡回担当者連絡会などで、高学年には自立に向けて子ども自身が行動できるように指導していくことなど区の考えを説明・助言した。各学童クラブの区担当職員の巡回などで、現場を確認する。

6、来年度に向けて

来年度は今年度の状況を見て、事業内容を検討するという事になっている。どのように行うのか。

→6月に待機の方へのアンケート。秋に運営協議会などからのアンケートを行う予定。待機の方は高学年であり、学童に入らなくても数か月経過してみても、「学童に入らなくてもいい」と思う人もいるかもしれない。アンケートで確認する。学校休業期間利用の利用希望の意思確認も必要であるので、行う。学童クラブは学年が上がると辞退する人もいる。第二次実行計画が今年度で終わるので、学童クラブ事業と放課後子どもひろば事業についても次の実行計画に位置づけたい。秋に素案を出してパブコメで意見を募集したい。子ども子育て会議にも、素案をお示しすることになると思う。

※連協からの現状とお願い

定員オーバーで学童待機の子どもの数は、ひろばは土曜日はやっていないので、4年生で、土曜日一人で外で過ごして家族の帰りをまっていた子どももいる。

6年生までの学童では、6年生でも利用し、異年齢のかかわりを持ち、思春期の成長を支えられて過ごしている。家庭や子ども自身の事情により高学年でも利用したい子どもは利用できるような学童にしてほしいという声がある。

学年が上がると辞退する方もいることについては、やめる理由が、学童の質（スペースや指導員の質）によるものもある。質の良い学童では学年が上がってもやめる率が低い。また、学童に行かない子どもたちは、放課後子どもが一人でゲームやテレビで過ごしている場合もある。学童に行かなくても過ごせるのだという前に、なぜ学童をやめるのか、やめた後どのように過ごしているのか、よく考えて今後を検討してほしい。

7、今年度の事業者選定

今年度の事業者選定を行う学童クラブを教えてください。また、参加が少ないため、公開プレゼンテーションの保護者の傍聴を検討すると聞いたが、保護者も傍聴できるようにしてほしい。

→今年度の選定は、富久町、子ども総合センター内、東戸山小学校内、大久保小学校内。選定委員会には、保護者に入っていただく。複数の事業者の応募があれば、保護者も傍聴できる公開プレゼンテーションを行う予定。

8、今年度の区の研修

学童クラブ職員の研修、巡回指導を教えてください。

→研修はソーシャルワーク研修、児童館学童クラブ体験研修、障害児研修、集団遊びなどの実技研修、エピペン研修などを予定している。高学年に対応するための思春期・発達段階をテーマにした研修も考えている。

区の担当者による巡回は、月に2回以上、必要に応じて実施する。

以上。